

地域別の農業農村の発展方向

佐久 輝く人と爽やかな自然が育む彩り豊かな佐久農業

【重点推進方策】

多種多様なニーズに応えられる産地づくりと、消費者との絆を深める活動を通じ、生産者の意欲を高める佐久農業を進めます。

- ①意欲ある担い手の確保・育成（新規就農・地域リーダー・女性農業者の経営向上）
- ②彩り豊かな産地づくり（高原野菜を中心に需要動向に即した新品目・品種の導入）
- ③環境と調和した農業・住みよい農村づくり（耕畜連携による土づくり・多様な地域資源の活用）
- ④地域の産物を活かした地産地消（佐久鯉など食文化継承・観光や他産業との連携）

【主な達成指標】

指標項目	H17年	H24年
レタス	104億円	127億円
ブロッコリー	10億円	13億円
夏秋イチゴ	2億円	3億円
認定農業者数	1,313経営体	1,520経営体
集落営農組織	0組織	10組織
エコファーマー認定者	57人	180人

上小 知恵を集めてみんなで目指す「いいものいっぱい」の産地づくり

【重点推進方策】

少雨多照の恵まれた気象条件を活かし、農業を守り育ててきた小規模農業者を含めた多様な担い手による「いいものいっぱい」の総合供給産地づくりを目指します。

- ①多様な担い手が地域農業を支える仕組みづくり（就農トレーニングセンター等の活用・小規模農家が活躍する環境づくりの支援）
- ②恵まれた気象条件を活かした総合供給産地づくり（トルコギキョウ・巨峰等の地域ブランドの再構築・実需に応じた新たな産地づくり）
- ③食と結びついた農業・農村づくり（直売など顔の見える安全安心な生産の拡大）

【主な達成指標】

指標項目	H17年	H24年
レタス類	10億円	12億円
ぶどう	11億円	12億円
トルコギキョウ	1.4億円	1.6億円
くすみ作付面積	33ha	50ha
アスパラガス新品種作付面積	0ha	15ha
販売1億円規模直売所	1箇所	3箇所
集落営農組織	3組織	29組織

諏訪 “光彩”放ち“信頼”深める「彩食健美」の郷づくり

【重点推進方策】

“諏訪湖との共生”を基本に夏季冷涼な気候を活かし、環境農業による高品位な園芸産地として10年先も持続し信頼されるブランド「信州諏訪」を目指します。諏訪の農業農村に親しみ支える“信州諏訪ファン”づくりを進めます。

- ①“諏訪湖と共生する”環境にやさしい農業の推進（エコファーマー取得の全域化）
- ②「10年先」を見通す多様な担い手の育成・確保（意欲的な小農展開・“農の匠”継承）
- ③「光彩と信頼」信州諏訪ブランド“力の向上（エコ農業推進でのブランド力向上）
- ④諏訪農産品の“地産地消”と“地産地商”（消費者との交流推進、郷土食伝承）

【主な達成指標】

指標項目	H17年	H24年
セルリー	21億円	22億円
パセリ	12億円	13億円
ほうれんそう	10億円	11億円
カーネーション	16億円	17億円
エコファーマー認定者	0人	600人
環境にやさしい認証面積	39ha	90ha
学校給食食材供給組織	10組織	11組織

上伊那 ふたつのアルプスに育まれた産業として成り立つ上伊那農業の構築

【重点推進方策】

ふたつのアルプスに育まれた上伊那地域の農業を持続可能で魅力あるものとするため、担い手の確保・育成、生産力・販売力の強化を図るとともに、中山間地域の特色ある農村づくりを総合的に進めます。

- ①担い手の確保・育成（上伊那新規就農促進会議・ニューファーマー講座による支援）
- ②生産力の強化（低コスト・高品質生産、環境にやさしい農業の推進）
- ③販売力の強化（上伊那食べたい提案隊・新商品開発による販売促進）
- ④中山間地域の振興（行者ニンニク・エコマ等地域農村資源の活用と有害鳥獣対策）

【主な達成指標】

指標項目	H17年	H24年
りんご	12.8億円	13.1億円
白ねぎ	4億円	5億円
アスパラガス	4億円	6億円
アルストロメリア	9億円	10億円
認定農業者数	510経営体	550経営体
水稲直播栽培面積	230ha	400ha
農産加工グループ数	20組織	27組織

飯伊 多様で豊かな農型社会、南信州からの提案

【重点推進方策】

地域住民と農業者が一体となった農村空間作りを進め、農産物生産を核とした「農ある豊かな暮らし」を実現する農型社会を目指します。

- ①多様な担い手が築く地域農業の維持と儲かる農業の提案（帰農塾の開設等）
- ②農地の有効活用推進と野生鳥獣被害対策の推進（地域プロジェクトでの捕獲対策）
- ③販売戦略による農畜産物や農産加工・販売のグレードアップ（地域商標活用・輸出支援）
- ④環境にやさしい農業の推進（有機の里づくり等有機資源の循環活用の促進等）
- ⑤地産地消の拡大と食育の推進（地場産の中京圏都市住民との交流促進等）

【主な達成指標】

指標項目	H17年	H24年
市田柿	23億円	24億円
きゅうり	10億円	11億円
トマト	1.5億円	1.7億円
肉用牛	14億円	15億円
農家民宿数	101箇所	112箇所
都市農村交流人口	187,741人	200,000人
野生鳥獣での農業被害	1.5億円	1.2億円